

令和 4 年度

柏市教育行政重点化方針

柏市教育委員会

教育行政重点化方針の概要

『令和4年度柏市教育行政重点化方針』は、令和4年度において特に優先順位が高く、かつ先導的に実施する取組について重点事業を示したものです。変化の激しいこれからの社会において、より良い教育行政を運営するためには、中長期的な視点で計画的に教育課題解決に向けた諸施策を展開することが必要です。柏市教育委員会では、子どもの教育並びに生涯学習、文化及び図書館の各分野について、第2次柏市教育振興計画、第4次柏市生涯学習推進計画、第五次柏市芸術文化振興計画及び柏市図書館のあり方において、中長期的な視点からの目指す方向性や施策を示しています。また、教育に関する事務の点検・評価を毎年度実施し、達成状況や課題、改善方策等を導き出しています。

柏市教育委員会では、各計画等の方向性及び施策並びに教育に関する事務の点検・評価の結果などを踏まえ、『令和4年度柏市教育行政重点化方針』を定めました。

目 次

1	令和4年度 重点化方針	1
2	令和4年度 施策体系別重点事業	7
I	未来につなぐ柏の教育	
	施策展開の方向1 学ぶ意欲を育成する	10
	施策展開の方向2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境 をつくる	16
	施策展開の方向3 教職員の力量・学校の組織力を高める	24
	施策展開の方向4 地域・家庭とともにある学校をつくる	26
II	笑顔と元気が輪となり広がるまち柏	
	目指す方向性	
	・子どもたちが健やかに成長するように	
	・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように	
	・すべての人が学べる環境に包まれるように	27
III	文化の薫るまちづくり	
	施策展開の方向1 身近に感じる芸術文化と活動の推進	29
	施策展開の方向2 歴史資料・文化財の保全と活用	31
IV	図書館サービスの充実	
	施策展開の方向 「学び・共有・創造活動」の支援を通じて、「ひと」 と地域を育む	32
3	令和4年度柏市一般会計当初予算における教育費の概要	34

1 令和4年度 重点化方針

令和4年度に教育委員会が重点的に取り組む事業についてまとめたものです。

組織体制の強化

(1) ICT推進室の設置

指導課内にICT推進室を設置し、市長部局の情報政策担当部門との連携を図りながら、今後さらに進む教育のICT化に適切かつ迅速に対応します。

(2) 学校施設課の教育施設課への改称

学校施設課を教育施設課と改称し、所管する工事発注、設計及び監督業務の実施範囲を、市立小中高等学校施設だけではなく、生涯学習部所管施設の工事発注等（設計額が130万円を超えるものに限る。）にまで拡大し、対応強化を図ります。

ICTの利活用の推進

GIGAスクール構想¹の実現

1人1台端末、高速大容量のネットワーク等の整備を行い、令和3年度から学習活動の一層の充実や「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を目指すGIGAスクールを開始しました。

令和4年度は、教科での簡単な活用であるStep1から、教科での深い学びにつなげるStep2への段階的推進を目指していきます。学校へのサポートとして、IT教育支援アドバイザー（ICT支援員）²の増員を行うほか、今後のデジタル教材の活用の増大を踏まえ、ストレスのないネットワークの増強を行っていきます。

市立柏高校については、令和4年度からの学習指導要領改訂に伴い、本格的にICTを活用した学習が求められており、GIGAスクール構想に基づくWi-Fi環境整備を行い、学習の基礎となる情報活用能力³の育成を図ります。

また、GIGAスクール構想の推進に向けた、教職員のICT活用の指導力向上を図るため、年次研修や特別研修等の教職員研修において、実務に生きる研修を

¹ GIGAスクール構想：児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。GIGAはGlobal and Innovation Gateway for Allの略

² IT教育支援アドバイザー（ICT支援員）：教職員や児童生徒がICTを活用する際の支援やトラブルが起きた際の対応等を行うため、市費（委託）により配置する者

³ 情報活用能力：必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力（ICTの基本的な操作スキルを含む。）や、情報の科学的理解、情報社会に参画する態度

実施します。

市立柏高校教育の推進

柏市立柏高等学校第三次教育計画の実施

令和4年度から柏市立柏高等学校第三次教育計画を実施します。

第二次教育計画から開始した単位制や特色あるクラス編成などの特長は継続しながら、新たにキャリア教育の推進、ICT教育の推進を含めた教育環境の充実、部活動を通じた地域連携の強化などに重点的に取り組めます。そして、地域の将来を支える力を持った生徒を地域とともに育成し、「柏で育てる 柏を支える 市立柏高校」を目指していきます。

安心して学び合える環境づくり

(1) 個別支援教員（特別支援）⁴の配置拡大

市立小学校では、「令和3年度通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒に関する調査」の結果、通常の学級に在籍する児童のうち、特別な教育的支援を要する児童が全体の5%に上ることが分かりました。これらの教育的ニーズに対応するため、令和3年度は個別支援教員を小学校15校に配置し、学習面及び生活面の支援を行っています。令和4年度は、新たに3校に個別支援教員を配置し、体制整備を図っていきます。

(2) 個別支援教員（生徒指導・不登校支援）⁵の配置拡大

市立中学校では、令和3年12月現在で、183人の生徒が学校には登校するものの教室には入れず、別室登校となっています。この別室登校をしている生徒に対し、個別支援教員を配置し、指導・支援を行っています。令和4年度は、全ての市立中学校において別室での指導・支援を行うために、個別支援教員の配置を拡大し、安全・安心な学校づくりを進めるとともに、多様な学びの場を提供していきます。

(3) スクールソーシャルワーカー⁶の配置拡大

コロナ禍において、児童生徒だけではなく、保護者や家庭環境に対する支援がこれまで以上に重要となっています。

⁴ 個別支援教員（特別支援）：小学校において、通常の学級で特別な支援を要する児童に対して、学級への入り込みによる指導（支援）及び必要に応じて週1～2時間程度の個別の学習支援を行うことにより、児童の生活・学習上の困難を改善又は克服につなげるため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

⁵ 個別支援教員（生徒指導・不登校支援）：中学校において、問題行動を起こしたり、非行傾向があったりする生徒への個別支援及び不登校などの理由で別室登校している生徒への学習指導や学級復帰につなげるための支援を行うため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

⁶ スクールソーシャルワーカー：教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた環境に様々な方法で働き掛けて支援を行う市費配置の会計年度任用職員

令和4年度も、引き続き、スクールソーシャルワーカーの市立全中学校区への配置へ向けた取組を進めることで、児童虐待や貧困、ヤングケアラー等の状況に置かれている児童生徒を早期に発見し、必要に応じて関係機関につなぎ、連携した支援を行っていくとともに、学校現場での支援体制の構築を進めていきます。

引き続き、スーパーバイザーによる研修を定期的実施し、スクールソーシャルワーカーの資質向上に努めていきます。

(4) 医療的ケアの体制整備

市立小中学校では、日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒が安心して学校生活を送るため、医療的ケア看護師⁷を配置するなど、支援体制を整備しています。令和4年度は、医療的ケアを必要とする児童生徒がさらに増加することから、一人一人の状態に合わせた医療的ケアを提供するため、以下の取組を実施します。

ア 一人一人の状態に合わせた医療的ケアを提供するため、医療的ケア看護師等の配置体制確保に取り組みます。

イ 看護師資格を有する医療的ケアコーディネーター⁸の配置日数を増やし、支援体制を強化します。

ウ 学校現場はもとより、医師会を始めとした関係機関と連携し、必要な支援を行っていきます。

(5) 夜間中学の調査研究

令和3年度は、柏市における夜間中学へのニーズを把握するため、夜間中学での学びにニーズを持つと想定される方や、これらの方々を日頃支援されている関係者のほか、広く市民の方を対象にアンケート調査を実施しました。

令和4年度は、実施した調査結果を踏まえながら、引き続き、調査・研究を進めていきます。

(6) 就学援助制度の拡充

令和4年度から、就学援助の支給費目であるPTA会費について上限額を撤廃し、実費の全額を支給します。また、クラブ活動や生徒会活動等に要する費用の一部を援助することを目的とした新たな費目を追加します。

⁷ 医療的ケア看護師：小中学校に在籍し、医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養等）を必要とする児童生徒を支援するために、市費により配置する看護師資格を持った会計年度任用職員。医療的ケアを実施し、必要に応じて学習及び生活面のサポートも行い、当該児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援します。

⁸ 医療的ケアコーディネーター：各学校に配置されている医療的ケア看護師の指導助言を行い、関係機関との連絡調整、医ケアガイドラインの作成等を担当し、医療的ケアに関わるコーディネーターとしての役割を果たすために、市費により児童生徒課に配置する看護師資格を持った会計年度任用職員

(1) 学校規模の適正化等への対応

ア 田中北小学校の移転新築

令和5年4月に移転先での開校を予定している田中北小学校について、関係機関と連携し、建設工事、備品の購入、通学路の安全対策等の開校準備業務を進め、良好な教育環境の確保に努めます。また、「開校準備だより」により、保護者や地域の方々への周知を進めていきます。

イ 教室不足への対応

(ア) 柏第三小学校について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための休校措置の影響を受け、令和3年度までに完了しなかった既存校舎改修工事を、引き続き実施していきます。

(イ) 田中中学校について、生徒数増加の見込みにより、令和7年度には教室不足となる推計結果が出ていることから、令和5年の工事着工に向けて校舎増築に係る基本実施設計を進めていきます。

(ウ) 各校の普通教室の改修及び一部空調設備の整備にも取り組むことで、教室数を確保していきます。

(2) 学校施設の老朽化対策

柏市立学校施設個別施設計画に則し、中長期的な維持管理コストの縮減等に努力しながら、以下のとおり長寿命化改良及び大規模改修事業を進めていきます。

ア 校舎長寿命化改良事業

田中小学校において、第一校舎の建替工事に引き続き、令和4年度から老朽化した既存校舎の長寿命化改良工事を実施します。また、令和3年度に引き続き西原小学校の設計を実施していくほか、令和4年度から柏第四中学校の設計を2か年事業として行います。

イ 屋内運動場長寿命化改良事業

酒井根東小学校及び富勢中学校の工事を実施します。また、豊小学校、松葉第二小学校及び松葉中学校の設計を実施します。

ウ 大規模改修事業

花野井小学校の工事を実施します。また、小学校1校及び中学校1校の設計を実施します。

(3) 学校給食施設の再整備

学校給食施設については、学校別に施設や運用の状況について詳細な調査を行い、学校給食衛生管理基準を踏まえた改修方法や運営方法、費用等を整理していきます。

また、現在の給食センターは、老朽化対策が喫緊の課題であるだけでなく、施設が狭いがゆえに衛生面や献立等について課題を抱えていることから、これらの

課題解決を図るため、移転・建替えを進めます。

教職員の働き方改革

部活動の在り方の検討

令和3年度から実施している地域部活動推進研究事業を拡大し、土日を中心とした部活動の地域移行実施に向けたシステム等の整備を進め、国の方針にもあるように令和5年度から市内全域に拡大を予定しています。

令和4年度は、指導者の募集の在り方や支払いシステムの構築など、運用に関する枠組みについて、重点的に研究を進めていきます。

学校・地域・家庭の連携

(1) 学校運営協議会⁹の設置拡大

令和元年度から導入を進めている学校運営協議会制度、いわゆるコミュニティ・スクールは、令和3年度末までに小中学校26校がコミュニティ・スクールとしてスタートしており、令和4年度末には中学校15校、小学校31校の計46校まで拡大する予定となります。

コミュニティ・スクールを通じて、地域と保護者と学校が互いに顔の見える関係をつくることから始め、各地域、各学校の特色を生かした活動となるよう、引き続き支援していきます。

(2) 放課後子ども教室¹⁰推進事業

放課後子ども教室ステップアップ学習会¹¹では、放課後の子どもの安全で健やかな活動場所の一つとして、小学校の余裕教室と地域ボランティアを活用した補充学習支援を引き続き行っていきます。

また、令和4年度は、地域との関わりの中で幅広い体験や経験ができる活動を取り入れることで、居場所の拡充につながるよう、モデル地域での試行的活動の実施を目指します。

⁹ 学校運営協議会：学校と保護者や地域住民等の代表者が学校運営や当該運営への必要な支援に関して協議する機関。校長が作成する学校運営の基本方針を承認する権限があり、学校運営等に関し、教育委員会や校長に意見を述べるができます。

¹⁰ 放課後子ども教室：小学校の特別教室等を活用し、放課後や夏休みに、地域住民の参画を得ながら、学習や様々な体験型講座等の取組を実施する事業

¹¹ ステップアップ学習会：平日の放課後に、学習習慣の定着及び学習意欲の向上を目的に小学校の特別教室等を活用して行う補充学習。アドバイザーと呼ばれる先生役を、地域の方々等に担っていただいています。

誇りの持てる文化の醸成

(1) 音楽の街かしわの創出

コロナ禍における社会情勢を注視しながら、コロナ前に開催していた、不特定多数の人々を対象とした柏駅前での参加型の音楽イベントを再開する予定です。会場での感染防止対策に加え、来場できない方向けに動画配信を行うなどウィズコロナ時代のイベント開催に向けて準備を進めていきます。

また、旧吉田家住宅の土間を会場とした「土間コンサート」を始めとするアウトリーチコンサート等の開催により、各分野と連携しながら地域に根差したイベントを展開し、「音楽の街＝かしわ」のイメージを広めていきます。

(2) 柏市文化財保存活用地域計画の作成

令和元年度から、文化財の保存と活用に関するマスタープランである柏市文化財保存活用地域計画の作成に着手しています。計画作成は、コロナ禍の影響で3か年の作成期間を1年延伸したため、令和4年度中の完成を目指しています。

計画完成後は、令和5年度に文化庁へ認定申請を行い、国の文化審議会の諮問、答申を経て、正式に認定を受ける予定です。文化財を総合的に調査、把握した上で、柏市の歴史的特徴や文化財の多面的な価値や魅力を抽出し、柏ならではのテーマやストーリーとして整理し、関連する文化財や民俗行事等の保存活用を図っていきます。

市域には、あまり知られていない貴重な文化財がまだ眠っているため、これらを掘り起こし、文化財を地域資源として生かしたまちづくりや、観光振興、地域振興につながる事業を、庁内関係部署や民間団体と連携して創り上げていきます。

図書館サービスの充実

(1) 柏市図書館のあり方の具現化

市民が保管している地域の歴史や活動を記録した資料を、市民とともに収集・整理して、次の世代に引き継ぐ「地域情報の拠点化事業」を進めていきます。

(2) 駅前「こども広場」及び「こども図書館」の設置検討調査

子育てしやすい環境づくりのため、市長部局の子育て担当部門と連携し、駅前「こども広場」及び「こども図書館」の設置に向けて、先進自治体の取組調査を実施します。

2 令和4年度 施策体系別重点事業

施策体系

I 未来につなぐ柏の教育

施策展開の方向	取組の方向
1 学ぶ意欲を育成する	1 分かる授業の推進
	2 英語教育の推進
	3 ICTの利活用の推進
	4 学校図書館の活用
	5 運動能力・運動習慣の維持及び向上
	6 健康教育の充実
	7 市立高校教育の推進
2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる	1 情報モラル教育の推進
	2 道徳教育の充実
	3 いじめ防止対策の推進
	4 不登校等児童生徒への支援の充実
	5 特別支援教育の推進
	6 幼保こ小連携の推進
	7 保護者の経済的負担の軽減
	8 外国籍の子ども等に対する支援
	9 学校規模の適正化
	10 学校施設・設備の維持管理
3 教職員の力量・学校の組織力を高める	1 教職員の育成
	2 働き方改革の推進
4 地域・家庭とともにある学校をつくる	1 学校・地域・家庭の連携

II 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

目指す方向性	取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが健やかに成長するように ・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように ・すべての人が学べる環境に包まれるように 	「はじめるきっかけ」を支援
	「もっと知りたい、つながりたい」を支援
	「ひろく伝えたい」を支援
	情報提供による学びの支援

Ⅲ 文化の薫るまちづくり

施策展開の方向	施策
1 身近に感じる芸術文化と活動の推進	・誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり
	・芸術文化振興のための環境づくり
	・芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進 ・柏らしさを活かしたまちづくりの推進
2 歴史資料・文化財の保全と活用	・文化財の調査研究の推進
	・市史編さん事業の推進
	・歴史資料・文化財に接することができる場と機会の提供

Ⅳ 図書館サービスの充実

施策展開の方向	施策
「学び・共有・創造活動」の支援を通じて、「ひと」と地域を育む	子どもの学びを支援する
	地域の歴史を共有する
	創造活動を支える

1 ページの構成

I 未来につなぐ柏の教育	
施策展開の方向 1 学ぶ意欲を育成する	
取組の方向 1-1 分かる授業の推進	
【令和4年度重点事業】	
取組の方向 1-1 分かる授業の推進	
事業名	内 容
みんなでつくる魅力ある学校の実施による授業力の向上	全国学力・学習状況調査及び柏市学習状況調査の結果から、児童生徒の学びのまじき方を分析し、教員の指導力に向けて、授業公開を行います。【指導課、児童生徒課、教育研究所】
「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善の実施	3面ボードを活用した授業の実践について、情報を整理して記述する能力の育成を図ります。また、記述すること自体に課題が見られるため、記述方法の指導を強化していきます。【指導課】

「施策展開の方向」及び「施策」

教育委員会の中長期的な施策について、基本的枠組みと内容を示します。

「I 未来につなぐ柏の教育」及び「II 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏」の施策展開の方向と施策は、それぞれ『第2次柏市教育振興計画』及び『第4次柏市生涯学習推進計画』に基づいています。

IIIについては、『第五次柏市芸術文化振興計画』を踏まえて、この柏市教育行政重点化方針において設定したものです。

IVについては、『柏市図書館のあり方』を踏まえて、この柏市教育行政重点化方針において設定したものです。

2 凡例

各事業の表中に用いた用語及び記号の意味は、次のとおりです。

- (1) 事業名欄の「(新規)」：令和4年度から新規に行う事業です。
- (2) 事業名欄の「(拡大)」：前年度から予算又は内容を拡大して行う事業です。
- (3) 内容欄の「○名分」：○名分を配置するのに必要な予算を確保しているという意味です。実際の配置においては、1名分の予算を分割し、週2日勤務を1名・週3日勤務を1名といった配置になることがあります。
- (4) 内容欄の「○名」：実際に、○名を配置します。
- (5) 予算額欄の「—」：予算額が0のものです。
- (6) 予算額欄の「…」：予算額を公表していないものです。

I 未来につなぐ柏の教育

施策展開の方向 1 学ぶ意欲を育成する

【令和4年度重点事業】

取組の方向 1 - 1 分かる授業の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
みんなで作る魅力ある学校 ¹² の実施による授業力の向上	全国学力・学習状況調査 ¹³ 及び柏市学力・学習状況調査 ¹⁴ の結果から、児童生徒のつまずき方を分析し、教員の指導力向上に向けて、授業公開を行います。【指導課，児童生徒課，教育研究所】	—
「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善の実施	3面ボードを活用した授業 ¹⁵ の実践について、情報を整理して記述する能力の育成を図ります。また、記述すること自体に課題が見られるため、記述方法の指導を強化していきます。【指導課】	—
算数支援教員 ¹⁶ の配置	学力・学習状況調査の結果を基に、算数科におけるつまずきの把握及び分析を行い、つまずき解消を目指した授業づくりを支援します。実践校を指定し、指導主事 ¹⁷ による定期的な指導助言や算数支援教員の配置を行い、重点的に授業づくりを支援します。【教育研究所】	44,898
理科教育支援員 ¹⁸ の効果的な活用	みんなで作る魅力ある学校の会場校を中心に、指導主事及び教育専門アドバイザーによるつまずき解消の支援を行い、つまずき解消に向けて、理科教育支援員を活用した安全な実験の実施を促していきます。【指導課】	77,813

¹² みんなで作る魅力ある学校：「主体的・対話的で深い学び」に向けた教員の授業の指導力向上のため、柏市内を4地区に分け、小学校・中学校の授業公開や参観，研究協議を行うもの

¹³ 全国学力・学習状況調査：文部科学省が全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析等をするために実施する調査。毎年4月に小学6年生及び中学3年生を対象に実施しています。

¹⁴ 柏市学力・学習状況調査：柏市独自で実施している調査。令和4年度から実施時期を11月に、対象を小学1年生から中学2年生までに変更し、実施します（令和3年度までは毎年4月に小学2年生から中学3年生までを対象として実施していました。）。

¹⁵ 3面ボードを活用した授業：教室の壁3面に黒板（ホワイトボード）を設置し、記述スペースを増やすことで、学び合い活動の際の、思考の視覚化を効果的に行う授業

¹⁶ 算数支援教員：市立小学校の児童の学習意欲の向上を目的として、算数科における授業支援や放課後の補習学習の支援を行うため、市費により配置する教員免許を持った会計年度任用職員

¹⁷ 指導主事：学校における教育課程，学習指導その他学校教育に関する専門的事項に関する事務に従事する教育委員会の職員

¹⁸ 理科教育支援員：理科授業における指導補助や実験や教材等の準備などを行うため、市費により各学校に配置する会計年度任用職員

取組の方向 1 - 2 英語教育の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
小学校外国語授業支援員 ¹⁹ の効果的な活用	担任が小学校外国語授業支援員を効果的に活用する方法、小学校外国語授業支援員の担任・児童に対する有効な支援方法の両面から、研修機会を充実させます。【指導課】	44,396
英語の活用機会の充実	国際交流週間やイングリッシュキャンプなどの取組により、児童生徒の英語の活用機会の充実を図ります。【指導課】	101,592
小中学校の系統的な英語教育の推進	外国語主任研修会において、小中合同研修を2回実施し、拠点中学校を中心に小中連携の取組を企画・推進します。【指導課】	—

取組の方向 1 - 3 ICTの利活用の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
G I G A スクール構想に基づくICTの効果的な活用の推進	G I G A スクール構想による1人1台端末の整備に基づき、ICTを活用した授業実践を段階的に行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。また、研究校を指定し、1人1台端末の教科での効果的な活用に向けた検証を進めていきます。【指導課】	114,192
1人1台の端末を活用した授業改善検討委員会 ²⁰ による検証事業	1人1台の端末を活用した授業検討委員会を設置し、教科の中での効果的な活用の検証を進めていきます。【指導課】	242
IT教育支援アドバイザー（ICT支援員）の配置	教材作成や授業準備等の支援を行うIT教育支援アドバイザー（ICT支援員）の配置を拡充し、各学校に週1回程度派遣できるように進めていきます。【指導課】	94,856

¹⁹ 小学校外国語授業支援員：市立小学校の教職員に対し、外国語活動及び外国語科の授業や、外国語教育の推進について指導・支援を行うため市費により配置する会計年度任用職員

²⁰ 1人1台端末を活用した授業改善検討委員会：柏市立学校に所属する校長、教頭、教員で構成する組織。教科の中で1人1台端末をどのように活用するかの先事例の検証を行います。

I C T 活用に係る教職員研修の充実	I C T の活用率の向上に向けて、次のとおり、教職員研修を充実させます。 (1) 担当者向け悉皆の研修により、1人1台端末の活用方法を紹介、周知するとともに、学習指導の工夫・改善を図り、授業での活用率の向上を目指します。また、児童生徒の情報活用能力や情報モラル ²¹ を育む教育を推進するための研修講座を開催します。 (2) 年次研修や特別研修において、「I C T を活用した授業づくり」等、実務に生きる研修を実施します。【指導課、教育研究所】	205
柏市情報リテラシー育成カリキュラムの実施	G I G A スクール構想による1人1台端末の整備に伴い、適切に情報や端末を活用することができる基礎的な知識や技能を児童生徒に身に付けさせるための支援を行います。小中学校9年間を通じた情報リテラシー育成カリキュラムを活用し、児童生徒の発達段階に応じて指導することで情報リテラシーの育成を図ります。【指導課】	—

取組の方向 1 - 4 学校図書館の活用

事業名	内 容	予算額 (千円)
各教科における学校図書館を活用した授業の推進	学校図書館運営マニュアルの活用や司書教諭及び学校図書館指導員 ²² に対する研修を充実するとともに、教育委員会、学校図書館コーディネーター ²³ 、学校図書館アドバイザー ²⁴ 、学校図書館指導員の役割分担を明確にすることで、さらなる学校図書館の活用を図ります。【指導課】	34,399
読書活動の推進	学年に合った図書の紹介など、意図を持った読書を進めていきます。柏市のスタンダード本を定めたり、市立図書館と連携し、子ども司書養成講座、帯コレ作品の展示、調べる学習コンクールに取り組んだりします。【指導課】	67

²¹ **情報モラル**：情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。具体的には、他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任を持つことや、犯罪被害を含む危険の回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康との関わりを理解することなど

²² **学校図書館指導員**：市立小中学校において、学校図書館を活用した授業の支援や、学校図書館の環境整備、児童生徒に対する読書推進などを行うため、市費により各学校に配置する会計年度任用職員

²³ **学校図書館コーディネーター**：学校図書館活用の方針及び授業モデルを作成・発信するとともに、市立小中学校の管理職や教職員に対し、学校図書館を活用した授業や教育の推進について指導・支援を行うため、市費により配置する会計年度任用職員

²⁴ **学校図書館アドバイザー**：学校図書館指導員に対して、学校図書館を活用した授業等の指導、支援を行うため、市費により配置する会計年度任用職員

学校図書館指導員の効果的な活用	学校図書館の整備はもちろんのこと、自発的・主体的学びの場、創造的な活動の場としての学校図書館を目指し、教科指導と学校図書館を結び付け、授業づくり支援に携わります。また、読書活動の「読み聞かせ」「ブックトーク」「読書会」「ビブリオバトル」などで児童生徒が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力の育成を図ります。【指導課】	80,845
-----------------	---	--------

取組の方向 1 - 5 運動能力・運動習慣の維持及び向上

事業名	内 容	予算額 (千円)
小学校体育サポート教室事業 ²⁵ の実施	民間スポーツクラブ講師が専門的立場から授業に参加しサポートすることで、児童の苦手な運動の克服や教員の指導力向上を図る事業を実施します。【指導課】	…
運動機会の充実	運動の習慣化を目指し、体づくり運動を中心とした授業改善及び体力向上マネジメントに関する研修を実施します。【指導課】	—
民間施設を活用した水泳指導の実施	市内5校が民間スポーツクラブ施設を利用し、インストラクターによる水泳授業を実施します。【指導課】	…

取組の方向 1 - 6 健康教育の充実

事業名	内 容	予算額 (千円)
食育重点指導項目の設定	児童生徒の実態を踏まえ、柏市産野菜の理解度等を食育重点指導項目として設定し、各学校で食育に取り組めます。【学校保健課】	—
食育の成果の把握及び改善	「し好調査・食生活アンケート」等を通して、食育の成果を把握し、改善を図ります。【学校保健課】	—
ジュニア救命士の育成	消防局と連携し、小学校5・6年生を対象に短期救命講習を実施し、命の大切さを考えさせるとともに、救命法、応急手当の重要性・必要性を身に付けさせます。【学校保健課】	—

²⁵ 小学校体育サポート教室事業：児童が主体的に活動し、成功体験を味わうことや、教師が運動の特性に応じた補助の仕方や運動する場の設定などを学ぶことを目的とし、民間スポーツクラブ講師を派遣する事業

赤ちゃん抱っこ体験	保健所と連携し、思春期保健健康教育の一環として赤ちゃんとその保護者との触れ合いから、赤ちゃんの温かみや誕生の喜び、育児の楽しさや大変さを体感しながら、命の大切さへの理解を深めます。【学校保健課】	—
-----------	---	---

取組の方向 1 - 7 市立高校教育の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市立柏高等学校第三次教育計画に基づく取組の実施	3か年の計画期間を経て、令和4年度は柏市立柏高等学校第3次教育計画実施の初年度となります。目指す学校像「柏で育てる 柏を支える 市立柏高校」を実現させるための3つの重点項目に基づいた取組を実施し検証することで、より効果的な教育活動を実施します。【教職員課，市立柏高校】	—
国際交流活動の充実	柏市と姉妹都市提携しているアメリカ・トーランス市から招いた2名の外国語指導助手（ALT） ²⁶ とのティーム・ティーチングによる小人数・習熟度別の語学指導を実施します。2年次には、国際教養クラスを対象にアメリカ・トーランス北高校との間で短期語学研修（ホームステイ）による相互交流を行います。 また、希望者を対象に中国・承德第一中学校又はオーストラリア・シェントンカレッジとの間で短期語学研修（ホームステイ）による相互交流を行います。【市立柏高校】	—
外国籍生徒の日本語指導	外国人特別入学者選抜で入学した外国籍生徒について、複数科目でティーム・ティーチングのT2として授業理解支援及び日本語教育を行う講師を3名採用し、日本語理解の支援と放課後の補修等を行います。【市立柏高校】	1,898
教育用コンピュータ・ネットワークの整備充実	教育活動に利用する普通教室等におけるICT機器の整備とネットワーク環境を、GIGAスクール構想に準じ、構築します。 市立柏高校では、2つのPC教室での1人1台のパソコンを使用した「IT活用」「社会と情報」「スポーツ概論」や各普通教室及び特別教室でのプロジェクターを使用した授業等、ICTを利活用した授業を積極的に推進します。【市立柏高校】	67,200

²⁶ 外国語指導助手（ALT）：主に外国語教育の充実を図るため、担任や外国語担当教員等の助手として、市費により配置する外国人指導者（会計年度任用職員又は派遣労働者）。ALTはAssistant Language Teacherの略

スクールバスの維持管理	主に部活動の遠征で利用できるよう、スクールバス5台（中型2台・マイクロ3台）を所有しており、安全で快適な運行ができるよう、適切な車両の維持管理と計画的な車両の更新を進めます。【市立柏高校】	15,891
学校備品の購入	吹奏楽部の楽器を始めとする部活動用の各種備品や、図書館の書籍、教科教材用の備品を計画的に購入します。【市立柏高校】	5,227
市立柏高校施設整備事業	学校施設の老朽化が著しいため、令和元年度から行っている外壁塗装及び屋根防水改修工事（普通教室棟及び特別教室棟）のほかに、通行者等の事故の防止のため、校庭とアプローチの間に防球ネットを設置する工事を進めます。【市立柏高校】	114,275

施策展開の方向2 互いの立場を尊重し合い、安心して学び合える環境をつくる

【令和4年度重点事業】

取組の方向2-1 情報モラル教育の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市情報モラル育成プログラムの実施	小中学校9年間を通じた柏市情報モラル育成プログラムを活用し、「情報技術の役割・影響の理解」, 「情報モラル・情報セキュリティの理解」, 「責任をもって適切に情報を扱おうとする態度」, 「情報社会に参画しようとする態度」など, 児童生徒の発達段階に応じて繰り返し指導することで, 情報モラルの育成を図ります。【指導課】	5,492
情報モラル講演の実施	実際の危険事例等を基にした講演を実施し, 児童生徒には, インターネットの正しい使い方に関する理解を促していきます。 また, 保護者向けの講演においては, 特に家庭でのスマートフォンの使用ルールの設定等を促していきます。【少年補導センター】	—

取組の方向2-2 道徳教育の充実

事業名	内容	予算額 (千円)
「特別の教科道徳」を核とした道徳教育の実施	質の高い道徳の授業を実施するための教職員研修の充実を図ります。【指導課】	30

取組の方向2-3 いじめ防止対策の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市いじめ防止基本方針及びいじめ問題対応の手引きに基づくいじめ防止対策の推進	柏市いじめ防止基本方針及びいじめ問題対応の手引きを令和2年度に改定しました。各学校において, いじめの未然防止, 早期発見, 早期対応が適切になされるよう, いじめ防止対策を推進していきます。 【児童生徒課】	577

STOP i t ²⁷ の提供及びいじめ防止プログラムの実施	ネットいじめの早期発見と抑止力を生み出すための教育を推進します。千葉大学・敬愛大学・STOP i tと連携して開発した映像教材である「脱いじめ傍観者教育」をテーマとした授業を市立中学校で実施するとともに、いじめを匿名で報告・相談できるアプリ「STOP i t（ストップイット）」を市立の全中学生及び全小学校6年生に対して導入しました。今年度は小学校高学年への、効果のないいじめ防止プログラムの実施について、検証をしながら進めていくとともに、市立柏高校への導入を進めていきます。【児童生徒課】	1,929
いじめ防止授業の実施	いじめの未然防止のため、具体的ないじめの事例から、いじめの法的根拠や適切なSOSの出し方等について、児童生徒の理解を深めるための授業を実施します。【児童生徒課】	—
学級がうまく機能しない状況調査の実施	学級がうまく機能しない状況を早期に発見するために、うまく機能しない状況の改善に向けた取組を、学校と連携して進めます。本調査を6月と10月の年2回実施します。【児童生徒課】	—
学級経営アドバイザー等の配置	経験の浅い講師や学級がうまく機能していない学級担任に対し、学級経営や生徒指導、児童生徒理解、保護者対応等に関する指導・助言を行うため、校長経験者を学級経営アドバイザー ²⁸ として配置します（6名分）。【児童生徒課】	23,624
人権教育研修等の実施	人権尊重教育担当者研修として、児童生徒の人権や様々な多様性に配慮していくために、学校現場で課題となっているテーマについての研修を行います。性の多様性に関する研修は、夏季研修講座に位置付け、引き続き研修を受講できるようにします。【児童生徒課】	41
いじめ防止サミット ²⁹ の実施	いじめ防止啓発月間の取組として、市立中学生による「いじめ防止サミットKASHIWA」を実施します。各中学校代表生徒が、いじめについて主体的に深く考え、議論する機会とします。さらに、サミットで学んだことを各学校で周知し、いじめ防止に向けた取組を実践します。【児童生徒課】	62

²⁷ STOP i t：匿名で柏市教育委員会にスマートフォンやパソコン等で報告、相談できるアプリ

²⁸ 学級経営アドバイザー：経験の浅い教職員へのサポートや保護者対応、学級が機能しなくなった状態（いわゆる学級崩壊）への対応及びいじめ問題解決に向けての訪問相談等を行うため、市費により配置する会計年度任用職員（校長経験者）

²⁹ いじめ防止サミット：「柏市児童虐待及びいじめ防止条例」において、毎年12月を「いじめ防止啓発月間」と定め、この一環として行う取組。各中学校から代表生徒を集め、いじめを防止するための学校での取組等を話し合う場です。

取組の方向 2 - 4 不登校等児童生徒への支援の充実

事業名	内容	予算額 (千円)
学習相談室 ³⁰ 、教育支援センター ³¹ による支援の実施	教育支援センター「きぼうの園」と3か所の学習相談室を拠点として、不登校児童生徒の学習支援及び学習相談室においては訪問相談事業を実施します。きぼうの園では、小中学校勤務を経験した職員が学習指導に当たり、週1日はALTによる英語も実施します。また、学習相談室にはスクールソーシャルワーカーを配置しており、学校・家庭・学習相談室・福祉機関等をつなぐ役割を果たし、不登校児童生徒や保護者を支援します。【児童生徒課】	41,007
オンラインによる学習支援	きぼうの園と学習相談室においては、インターネット環境を整備し、平成30年度からタブレット端末を配置しています。eboardで学習に取り組むことができ、定期的に講師による研修も受けています。今後は学校の授業にオンラインで参加できるようなことも広がっていくことが予想されます。きぼうの園指導員 ³² や学習相談室指導員 ³³ が新しい学習スタイルに対応できるよう研修を行っていきます。【児童生徒課】	120
個別支援教員（生徒指導・不登校支援）の配置	校内で問題行動の見られる生徒や別室登校をしている生徒等、個別の支援を要する生徒に対応するため、中学校に個別支援教員（20名）を配置します。【児童生徒課】	47,775
スクールソーシャルワーカーの配置	全中学校区へのスクールソーシャルワーカーの配置を段階的に進めていきます。（15名分）【児童生徒課】	45,085
社会的自立に向けた取組の実施	不登校児童生徒は、集団での人との関わりが希薄になりがちです。そこで、市内不登校児童生徒を対象とした交流活動として、あすなるキャンプ ³⁴ 、自然体験学習、スポーツ交流などを実施します。また、あすなるキャンプでは、職場体験を実施します。【児童生徒課】	240

³⁰ 学習相談室：何らかの理由で学校に行くことのできない長期欠席児童生徒を対象に、児童生徒の状況に応じた個別の教育相談や学習指導を行う施設。通室が困難な場合は、家庭訪問による指導支援も実施。市内に3か所（柏第六小学校内、増尾西小学校内、大津ヶ丘第二小学校内）開設しています。

³¹ 教育支援センター：何らかの理由で学校に行くことのできない長期欠席児童生徒を対象に、児童生徒の状況に応じた学校生活への復帰を含めた教育相談や学習指導を行う施設

³² きぼうの園指導員：きぼうの園（教育支援センター）に通室する児童生徒に対する学習指導や教育相談、教職員に対する指導・助言などを行うため、市費により配置する会計年度任用職員

³³ 学習相談室指導員：長期欠席児童生徒及びその保護者に対する家庭訪問、学習相談室に通室する児童生徒に対する学習指導や教育相談、教職員に対する指導・助言などを行うため、市費により配置する会計年度任用職員

³⁴ あすなるキャンプ：市内小中学校に在籍する、長期欠席児童生徒を対象に行うキャンプ。職場体験や自然体験などを通して集団で協力することや達成感を味わえるような内容を毎年企画しています。

フリースクールとの連携の推進	教育支援センター及び学習相談室運営委員会（年2回開催）において、きぼうの園、3か所の学習相談室、地区の学校長とフリースクールが集まり、市の長欠に対する方針の確認や情報共有などを行い、連携を図ります。また、「ひまわりの会」 ³⁵ では、不登校児童生徒や保護者に対して、フリースクールの紹介の場を設けます。【児童生徒課】	—
不登校児童生徒の保護者への支援	教育支援室では、心理士や教員経験者等が不登校に関する相談を受け付けます。また、教育支援センター、学習相談室においても、通級や家庭訪問に向けた相談を随時受け付けます。さらに、「ひまわりの会」を年3回実施し、不登校に関する相談会、講演、進路相談等を行います。学校においては、スクールカウンセラーを配置し、不登校児童生徒や保護者の相談、学校との連携を行います。【児童生徒課】	24,882
児童虐待の所管部署との連携	スクールソーシャルワーカーを各中学校に配置することで、学校と様々な関係機関との連携した支援を行っていきます。【児童生徒課】	—
学習面・生活面でのきめ細かな支援（小学校低学年支援）	1学級当たりの児童数の多い学校等の小学校低学年に、低学年支援教員 ³⁶ を配置し、学習面・生活面でのきめ細かな支援をしていくことで、後々の学習面・生活面に良い影響を与え、いじめ・不登校の防止や学力の向上につなげます。【指導課】	91,246
夜間中学の調査研究	令和3年度に実施したニーズ調査等の結果を踏まえながら、引き続き、調査・研究を進めます。【学校教育課】	143

取組の方向 2-5 特別支援教育の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
教育支援員の配置	特別支援学級を中心として、各小中学校の実態に応じて、適切に教育支援員 ³⁷ を配置し、該当児童生徒の学習や生活上の支援を行います。（115名分） 【児童生徒課】	268,405

³⁵ ひまわりの会：柏市教育委員会主催による、柏市立小中学校に在籍する不登校児童生徒の保護者を対象とした集い。高校説明会の実施、不登校についての情報提供、不登校に関する講演会などを実施しています。

³⁶ 低学年支援教員：小学校1・2年生の授業補助、生活補助などを行うことにより、児童の実態に応じたきめ細かな指導を実施し、学ぶ意欲の定着につなげるために、市費により配置する会計年度任用職員で教員免許を有する者

³⁷ 教育支援員：特別支援学級に在籍する児童生徒を中心に、生活及び学習の全般的な支援を行うため、市費により配置する会計年度任用職員。また、通常の学級に在籍する児童生徒に対して必要に応じた支援も部分的に行います。

個別支援教員（特別支援）の配置	小学校に個別支援教員を配置し、通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童を中心に、学習や生活上の支援を行います。（15名）【児童生徒課】	57,305
個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用	特別支援学級在籍児童生徒、通級による指導を受けている児童生徒、その他作成の必要のある児童生徒について個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、より適切な支援を行います。【児童生徒課】	—
通常の学級と特別支援学級との間の連続性の確保	連続性のある「多様な学びの場」と支援の充実を目指し、特別支援学級在籍児童生徒の実態に応じた交流及び共同学習等を行います。また、全ての児童生徒の実態に応じた校内支援体制の構築とともに、通常の学級と特別支援学級の間で、双方向性のある適切な転級を進めます。【児童生徒課】	—
医療的ケアの体制整備	医療的ケアが必要な児童生徒に対して、医療的ケア看護師を配置すること等により、適切な支援を行います。また、医療的ケアコーディネーターの配置及び医療的ケア指導医の学校派遣により、安全安心な医療的ケアの実現を目指します。【児童生徒課】	49,558

取組の方向 2-6 幼保こ小連携の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市幼保こ小連絡協議会 ³⁸ による連携	幼保こ小当番校・園連絡協議会が中心になって連携の在り方を協議し、それを基に幼保こ小地区別連絡会 ³⁹ （市内9地区）を開催して連携を推進します。 【教育研究所】	—
スタートカリキュラム ⁴⁰ の活用の促進	幼稚園・保育園・認定こども園での学びと小学校との学びが緩やかに移行し、円滑な接続を実現するためのスタートカリキュラムについて、研修会等を開催し、理解・活用を促進します。【教育研究所】	—

³⁸ 柏市幼保こ小連絡協議会：幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指し、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校の相互理解と連携の充実を図るための組織。各地区（9地区）から幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の関係者が参加しています。協議会全体としての協議、情報収集、啓発活動のほか、地区別連絡会を開催し、各小学校区における交流活動を推進しています。

³⁹ 幼保こ小地区別連絡会：柏市幼保こ小連絡協議会の運営計画に基づき、市内9地区において参観や協議会を行う組織

⁴⁰ スタートカリキュラム：接続期カリキュラムのうち、小学校1年生入学当初のカリキュラム。柏市の小学校では、これまでも入学当初の指導を工夫してきていますが、各小学校のこれまでの取組を踏まえつつ、生活科を中心とした指導を工夫し、さらに教育課程全体を視野に入れて取り組めるように推進しています。

取組の方向 2 - 7 保護者の経済的負担の軽減

事業名	内 容	予算額 (千円)
就学援助費の支給	経済的な理由で就学が困難な家庭に対し、学用品費の支給など経済的支援を実施します。【学校教育課】	163,388
柏市の実情に応じた就学援助制度の在り方の検討	支援内容の充実及び受給者の申請に係る負担の軽減を図るため、就学援助に係る現状分析を行い、柏市の実情に応じた当該制度の在るべき姿を検討します。【学校教育課】	—

取組の方向 2 - 8 外国籍の子ども等に対する支援

事業名	内 容	予算額 (千円)
外国語での就学案内の送付及び就学状況の把握	就学年齢に達する前年の外国籍児童生徒に対し、入学通知書発送時に外国語での就学案内を同封し、就学を促します。また、出入国在留管理局への出入国照会等により、外国籍児童生徒の就学状況の把握を行います。【学校教育課】	10
日本語指導の実施	関係団体と連携を図り、帰国・外国人児童生徒への初期日本語指導や教科指導の支援を行います。【指導課】	7,028

取組の方向 2 - 9 学校規模の適正化

事業名	内 容	予算額 (千円)
学校適正規模を踏まえた学区外就学・区域外就学の一部制限の実施	文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を踏まえ、「柏市立小学校及び中学校の適正配置に関する基本方針」に基づき、児童生徒の学区外就学の制限を行い適正規模の維持を図ります。【学校教育課】	179
児童生徒数の増加による教室不足への対応	児童生徒の増加が見込まれる小学校3校（柏三小、柏五小、光ヶ丘小）及び中学校3校（柏二中、田中中、手賀中）の教室不足に対応するための設計・工事を行います。【学校教育課、教育施設課】	306,934
柏北部東地区新設小学校（移転する田中北小学校）整備事業	児童の増加が見込まれる柏北部東地区に田中北小学校を移転整備するため、建設工事及び開校準備を進めていきます。なお、教材・教具の整備については、既存物品を精査し、新規購入が必要な備品等を整備していきます。【学校教育課、学校財務室、教育施設課】	4,502,014

学校運営協議会を通じた地域との課題共有	地域住民及び学校PTA、学校関係者と児童生徒数の現状及び今後の推移について共有します。【学校教育課】	—
---------------------	--	---

取組の方向 2-10 学校施設・設備の維持管理

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市立学校施設個別施設計画に基づく老朽化対策の実施	校舎長寿命化改良工事の設計を2校（西原小，柏四中），工事を1校（田中小），また，大規模改修工事の設計を2校，工事を1校（花野井小）で行います。屋内運動場については，長寿命化改良の設計を3校（豊小，松葉二小，松葉中），工事を2校（酒井根東小，富勢中）で行います。【教育施設課】	1,253,076
校舎トイレの改修	老朽化した校舎トイレの改修工事を小学校5校，中学校2校で行います。また，設計を小学校3校，中学校1校で行います。【教育施設課】	366,200
学校遊具の老朽化対策の実施	学校遊具の点検結果を受け修繕・撤去・更新を行います。また，遊具点検を毎年実施し，安全確保に努めます。【学校財務室】	35,150
市立柏高校施設整備事業	学校施設の老朽化が著しいため，令和元年度から行っている外壁塗装及び屋根防水改修工事（普通教室棟及び特別教室棟）のほかに，通行者等の事故の防止のため，校庭とアプローチの間に防球ネットを設置する工事を進めます。【市立柏高校】（再掲）	114,275

取組の方向 2-11 安全・安心でおいしい給食の提供

事業名	内容	予算額 (千円)
学校給食施設の維持管理及び調査，学校給食センターの移転・建替え	老朽化した学校給食施設の維持管理及び給食備品の更新，学校給食衛生管理基準を踏まえた自校方式施設の改修及び整備方法等に係る調査，学校給食センターの移転・建替えを進めます。【学校保健課】	456,755
食物アレルギー対策の強化	食物アレルギーに関する基礎知識の習得や校内体制づくりに資するため，教職員を対象とした研修を行います。また，事故発生時に迅速かつ適切に対応できるよう，各校で校内研修を実施します。【学校保健課】	30

取組の方向 2 - 1 2 防災体制の強化

事業名	内容	予算額 (千円)
学校における防災体制の強化	各学校における効果的な訓練等実施に向けた取組を推進するよう支援してまいります。【児童生徒課】	—
災害対応体制整備	避難所開設に当たっての簡易マニュアル作成を順次行うほか、浸水想定区域等に位置する学校の対応マニュアル作成を支援します。【児童生徒課】	—
地域と連携した訓練等の実施	地域と連携した訓練や、災害時に学校と地域が連携するための協議・検討の場づくりを支援します。【児童生徒課】	—

施策展開の方向3 教職員の力量・学校の組織力を高める

【令和4年度重点事業】

取組の方向3-1 教職員の育成

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市教職員人材育成指針に基づく人材育成の推進	年次研修や特別研修等の教職員研修において、各職層に応じて求められる資質能力を明らかにした上で実務研修を実施します。【教育研究所】	3,089
実効性のある人材育成体制の整備	各研修の効果を定量的・定性的に測定し研修内容を精選するとともに、OJTとOff-JTの連動等、実効性のある人材育成体制となるよう整備します。【教育研究所】	—
人材育成アドバイザー ⁴¹ の配置	年次研修における研修講師や、学校管理職に対し学校経営などに関する助言・支援を行う人材育成アドバイザーを配置します。【教育研究所】	—
地区教頭会 ⁴² による資質向上	地区教頭会による教頭間での情報交換・研修を促すことで、管理職としての資質向上を図ります。【教職員課】	—

取組の方向3-2 働き方改革の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
教育委員会・学校の連携による負担軽減策の検討	各校で進んでいる働き方改革について継続的に把握し、校長会や教頭会、モラールアップ代表者会議 ⁴³ において好事例を共有することで、市内の業務改善を一層推進します。さらに、教育委員会主催の会議や研修のオンライン化、市教委への提出物の精選・効率化も進めていく予定です。【教職員課】	—
校務の情報化の推進及び新校務支援システムの導入	教職員の作成する書類データを一元管理することで、簡単な操作で正確な書類作成を可能とするなど、校務処理の効率化を図ります。また、教職員の校務の効率化をさらに進め、教職員が児童生徒一人一人にきめ細かな指導が図れるよう、新校務支援システムの導入に向けた準備を進めます。【指導課】	…

⁴¹ 人材育成アドバイザー：学校管理職に対し、学校経営などに関する助言・支援を行う市費配置の一般職任期付短時間勤務職員

⁴² 地区教頭会：市内を9地区に分け、その地区ごとに行う教頭の会議

⁴³ モラールアップ代表者会議：市立全小中学校からの代表者で構成する、教員の士気やメンタルヘルスの向上、働き方改革の推進について協議する会議

校務補助員 ⁴⁴ の配置	校務補助員を配置し、教職員が行っている資料の印刷や提出物の確認など、事務の一部を代行することで、教職員の負担軽減を図ります。【学校財務室】	4,491
養護教諭の負担軽減	養護教諭の負担を軽減するため、臨時養護教諭2名を配置し、学校保健業務を支援します。【学校保健課】	2,517
教職員の部活動に関する負担軽減	部活動の地域移行を推進するため、地域部活動の実践研究を実施します。また、部活動指導へのサポートに関する事業にも継続して取り組みます。【指導課】	...

⁴⁴ 校務補助員：教職員の業務負担を軽減するため、事務の一部を代行する市費配置の派遣労働者。資料の印刷、配付、教材作成の補助、軽易な採点、提出物の確認、美化作業等の、教職員が指示した業務を行います。

施策展開の方向 4 地域・家庭とともにある学校をつくる

【令和 4 年度重点事業】

取組の方向 4-1 学校・地域・家庭の連携

事業名	内容	予算額 (千円)
学校運営協議会の設置	令和元年度から、順次学校運営協議会を各校に設置し、学校、地域、家庭の三者が連携して学校運営に取り組む「地域とともにある学校」を目指しており、令和 4 年度末までに 25 校区 46 校に設置拡大する予定です。今年度も学校・地域の実情に合わせた円滑な協議会の運営となるよう指導助言を行います。【学校教育課】	3,255
地域学校協働活動 ⁴⁵ の推進	学校運営協議会で話し合った内容が、地域ごとの特色ある活動につながることを目指します。併せて、学校、地域、家庭がスムーズに連携できるよう支援していきます。その実現のため、今年度、地域学校協働活動推進員 ⁴⁶ 養成講座を開催します。【学校教育課】	583
放課後子ども教室の充実	学校・地域・家庭と連携し、放課後の子どもの安全で健やかな居場所を確保・拡充します。【生涯学習課】	26,062
みんなの子育て広場 ⁴⁷ の充実	学校・家庭・地域が協力して、講習会や通信発行等を実施することにより情報交換や不安の解消、仲間作りの支援を行います。【生涯学習課】	6,863
教育福祉会館の自律（立）的運営や公民館事業を通じた人材育成	令和 3 年にリニューアルした教育福祉会館において、教育分野と福祉分野が相互に連携し、多世代交流や地域共生をキーコンテンツとして、自ら地域課題を発掘し、解決に向けた検討を行い、モデル事業の創出から市内各地域への横展開までを行えるような市民主体の運営の実施、また、実施に必要な人材の育成や体制の整備などを行っていきます。【中央公民館】	195

⁴⁵ 地域学校協働活動：幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動の総称

⁴⁶ 地域学校協働活動推進員：学校運営協議会と連動し、地域ぐるみで学校を支援するためのパイプ役となる者

⁴⁷ みんなの子育て広場：子育て中の保護者が情報交換を通じて、仲間づくりや不安・悩みの解消ができるよう開催される話し合いの場。学校における各種説明会や授業公開など様々な機会を利用して開催されています。保護者、地域住民、教職員が「支援者」として、自主的に企画・運営しています。

Ⅱ 笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

目指す方向性

- ・子どもたちが健やかに成長するように
- ・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
- ・すべての人が学べる環境に包まれるように

【令和4年度重点事業】

「はじめるきっかけ」を支援

事業名	内容	予算額 (千円)
学校支援ボランティア ⁴⁸	学校支援ボランティアの充実を図ります。併せて、学校支援ボランティアが安心安全に活動できるよう、損害保険に加入しています。また、現在の学校支援コーディネーター ⁴⁹ は、順次、地域学校協働活動推進員へ移行していきます。【学校教育課】	664

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

事業名	内容	予算額 (千円)
放課後子ども教室	学校・地域・家庭と連携し、放課後の子どもの安全で健やかな居場所を確保・拡充します。【生涯学習課】（再掲）	26,062
地域情報の拠点化事業	世代交代等により、市民が保管している地域の歴史や活動を記録した資料が急速に失われていることに強い危機感を持っています。これらの地域資料を市民と共に収集・整理して、次の世代に引き継ぎます。 地域資料の収集活動を通して「人づくり・地域づくり」を支援します。収集した資料を活用し、より多くの人に関与し、広く興味・関心を喚起する取組を推進します。 収集した紙の資料は、地域にある分館に集積し、分館が地域情報の拠点として機能することを目指します。【図書館】	1,401

⁴⁸ 学校支援ボランティア：保護者や地域住民など、子どもの安全対策や学習支援、環境整備などに従事するボランティア

⁴⁹ 学校支援コーディネーター：学校が地域に対して学校を支援してほしいと求めていることと、地域住民やボランティアが参加を希望していることとをつなぎ、調整する役割を担う者

地域学校協働活動	学校運営協議会で話し合った内容が、地域ごとの特色ある活動につながるよう学校・地域・家庭の連携を図ります。【学校教育課】	583
----------	---	-----

「ひろく伝えたい」を支援

事業名	内容	予算額 (千円)
地域づくり事業	学びを通じたQOLの向上とともにライフステージにおける生活課題や地域課題解決のための学習機会を提供することにより、その学習成果を主体的なまちづくりにつなげます。具体として、様々な生活課題や地域課題に着目し、例えば自然環境分野、介護・福祉分野などのボランティアとして活躍できるよう、人材の育成を目的とした意識啓発やスキル習得に関する講座等を実施します。【中央公民館】	3,394
地域学校協働活動推進員の養成	地域学校協働活動を推進するため、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員の養成を行うための研修を開催します。この研修を受講された方を、順次地域学校協働活動推進員に委嘱することを目指します。【学校教育課】	583

情報提供による学びの支援

事業名	内容	予算額 (千円)
生涯学習情報提供システム	生涯学習施策に係る事業及び生涯学習関連団体の事業等をインターネットにより情報提供し、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。【生涯学習課】	—
ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	先進的な取組の調査や市民アンケートの結果を基に新しい学習コンテンツ提供を幅広く試みます。【生涯学習課】	—

Ⅲ 文化の薫るまちづくり

施策展開の方向 1 身近に感じる芸術文化と活動の推進

【令和4年度重点事業】

- ・誰もが芸術文化に触れることのできる機会づくり
- ・芸術文化振興のための環境づくり

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市文化祭の開催	普段発表の場が少ない市民へ舞台や展示の機会を提供し、それらを気軽に鑑賞する機会を創出することにより市民参加を促進します。【文化課】	6,880
中学音楽鑑賞教室の開催	昨年度開催がかなわなかった学校も含め、子どもたちに本物のオーケストラ演奏を間近に鑑賞・体験する機会を提供し、興味のきっかけ作りを図っていきます。(音楽の街かしわの創出の一環)【文化課】	8,288
柏市民ギャラリーの利用促進	指定管理者による管理及び運営の下、柏市ゆかりの作家や著名な作家の作品の展示会を開催し、芸術文化を身近に触れる機会を創出します。また、市民の発表・鑑賞の場として自主的で多様な創作活動を支援していきます。【文化課】	16,471
かしわ塾の開催	市立柏高校吹奏楽部の協力の下、小中学生対象のワークショップを開催し、世代間の交流を通じた技術向上と人材育成を図ります。(音楽の街かしわの創出の一環)【文化課】	354

- ・芸術文化活動への支援と連携・協働による文化交流の促進
- ・柏らしさを活かしたまちづくりの推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏 d e 吹奏楽 P A R T Y ! ♪ の開催	市民が自然に集まる街中で、気軽に参加できる吹奏楽イベントを市民団体との連携で実施します。「音楽の街かしわ」を市内外に発信し、音楽が盛んなまちとしてのイメージアップを図っていきます。(音楽の街かしわの創出の一環)【文化課】	3,211

<p>市内の文化財施設等の身近な場所での事業の開催</p>	<p>芸術文化を「高尚なもの」という概念にとらわれずに、所蔵する芹沢銈介作品等に見られる「身近で日常に溶け合うアート」に気付きを促します。また、市内文化財施設など、地域に溶け込んだ場所でのイベントの開催をし、市民が楽しめるような地域づくり、それが柏らしさにつながるよう取り組んでいきます。【文化課】</p>	<p>—</p>
-------------------------------	---	----------

施策展開の方向 2 歴史資料・文化財の保全と活用

【令和4年度重点事業】

文化財の調査研究の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
柏市文化財保存 活用地域計画の 策定	柏市の文化財を適切に保存・活用していくためのマスタープランを令和元年度から4か年計画で策定します。また、この計画を策定していく過程で、市域の各種文化財についての現状把握を行っていきます。【文化課】	6,838
埋蔵文化財の発 掘調査	現地踏査、試掘、確認調査により埋蔵文化財の把握に努め、保護と開発との調整を図り、現状保存を見込めない場合は発掘調査（本調査）を実施し、復元整理の上で報告書を刊行します。【文化課】	24,717
各種文化財の管 理・継承	所管する文化財を維持管理するとともに、指定文化財の管理者や民俗芸能団体に対して管理や継承の支援を行います。【文化課】	31,014

市史編さん事業の推進

事業名	内容	予算額 (千円)
歴史資料の保存 と活用	柏市の発展過程を学術的に検証していくため、市民との協働により所蔵資料の整理を進めるとともに、インターネットによるデジタルアーカイブでの公開や郷土史ポータルサイトの開設・拡充等により活用を進めます。【文化課】	4,000
柏市史の刊行	市域の歴史を系統的に解明し、これを市民に発信していくため、(仮)「柏市史 沼南町史通史編」を刊行します。【文化課】	5,910

歴史資料・文化財に接することができる場と機会の提供

事業名	内容	予算額 (千円)
郷土資料展示室 における展示活 動	郷土資料展示室における展示を通して、柏の歴史や文化財及び美術工芸品を紹介します。【文化課】	2,060

IV 図書館サービスの充実

施策展開の方向 「学び・共有・創造活動」の支援を通じて、「ひと」と地域を育む

【令和4年度重点事業】

子どもの学びを支援する

事業名	内容	予算額 (千円)
学校及び学校図書館の支援	貸出依頼のあった資料を学校図書館へ提供します。また、学校図書館関係者等との意見交換を定期的に行います。【図書館】	—

地域の歴史を共有する

事業名	内容	予算額 (千円)
地域情報の拠点化事業	世代交代等により、市民が保管している地域の歴史や活動を記録した資料が急速に失われていることに強い危機感を持っています。これらの地域資料を市民と共に収集・整理して、次の世代に引き継ぎます。 地域資料の収集活動を通じて「人づくり・地域づくり」を支援します。収集した資料を活用し、より多くの人に関与し、広く興味・関心を喚起する取組を推進します。 収集した紙の資料は、地域にある分館に集積し、分館が地域情報の拠点として機能することを目指します。【図書館】（再掲）	1,401
情報発信の推進	ホームページやSNS、企画展示等を最大限活用し、図書館の取組や地域資料などを広く市民に発信し、市民と共有していきます。【図書館】	—

創造活動を支える

事業名	内容	予算額 (千円)
交流型講演会	講演会と対話の場を設定した交流型講演会を開催し、講演テーマに関心を持つ参加者同士の学び合いや、次へのアクションのきっかけづくりを支援します。【図書館】	139

駅前「こども広場」及び「こども図書館」の設置検討調査

事業名	内容	予算額 (千円)
先進事例調査	子育てしやすい環境づくりのため、駅前「こども広場」及び「こども図書館」の設置に向けて、先進自治体の取組調査を実施します。【図書館】	216

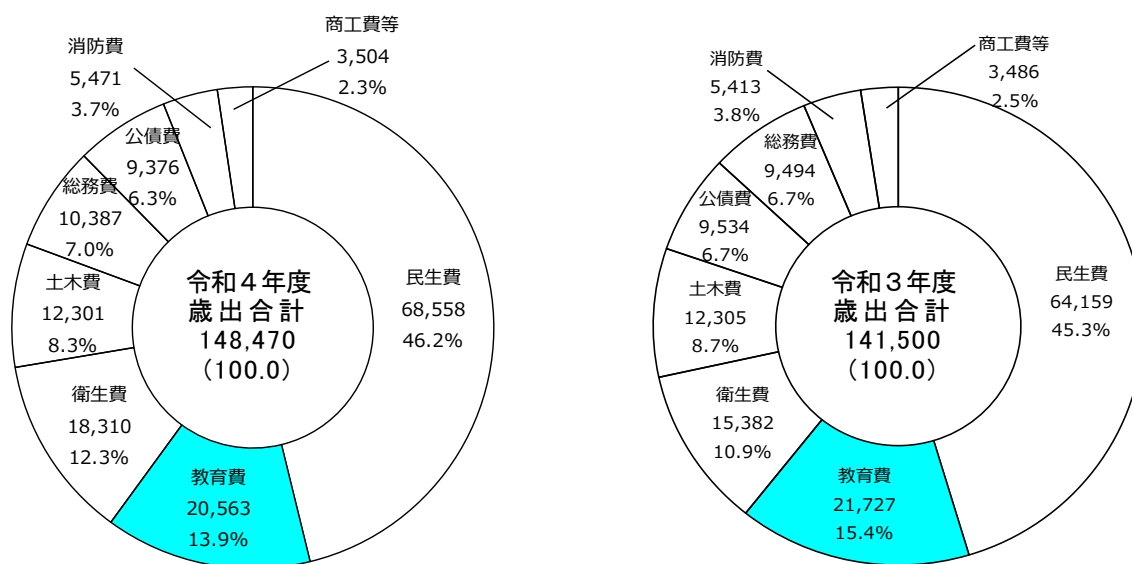
3 令和4年度柏市一般会計当初予算における教育費の概要

(1) 歳出予算総額に占める教育費の割合

(単位／千円，%)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較	伸び率
一般会計予算総額	148,470,000	141,500,000	6,970,000	4.9
教育費	20,563,427	21,727,175	△ 1,163,748	△ 5.4
教育費比率	13.9	15.4		

歳出予算内訳



単位：100万円

(2) 教育費の目的別内訳

(単位／千円，%)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較	伸び率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育総務費	3,465,372	16.9	3,098,834	14.3	366,538	11.8
小学校費	7,731,179	37.6	9,313,792	42.9	△ 1,582,613	△ 17.0
学校管理費	1,366,677	6.6	1,395,827	6.4	△ 29,150	△ 2.1
教育振興費	692,990	3.4	706,720	3.3	△ 13,730	△ 1.9
学校建設費	5,671,512	27.6	7,211,245	33.2	△ 1,539,733	△ 21.4
中学校費	1,406,960	6.9	1,629,628	7.5	△ 222,668	△ 13.7
学校管理費	696,203	3.4	704,201	3.2	△ 7,998	△ 1.1
教育振興費	305,466	1.5	341,628	1.6	△ 36,162	△ 10.6
学校建設費	405,291	2.0	583,799	2.7	△ 178,508	△ 30.6
高等学校費	1,017,881	4.9	1,133,879	5.2	△ 115,998	△ 10.2
学校管理費	824,919	4.0	819,457	3.8	5,462	0.7
教育振興費	78,687	0.4	72,422	0.3	6,265	8.7
学校建設費	114,275	0.5	242,000	1.1	△ 127,725	△ 52.8
幼稚園費	2,721,177	13.2	2,662,655	12.2	58,522	2.2
社会教育費	1,161,534	5.6	1,051,315	4.8	110,219	10.5
保健体育費	3,059,324	14.9	2,837,072	13.1	222,252	7.8
教育費合計	20,563,427	100.0	21,727,175	100.0	△ 1,163,748	△ 5.4

(3) 教育費の経費別内訳

(単位／千円，%)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較	伸び率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
消費的経費	10,726,007	52.2	10,440,563	48.0	285,444	2.7
人件費	3,907,500	19.0	3,739,577	17.2	167,923	4.5
物件費	6,428,028	31.3	6,325,915	29.1	102,113	1.6
その他	390,479	1.9	375,071	1.7	15,408	4.1
維持補修費	263,399	1.3	294,526	1.4	△ 31,127	△ 10.6
扶助費	2,881,775	14.0	2,827,659	13.0	54,116	1.9
投資的経費	6,456,246	31.4	7,927,427	36.5	△ 1,471,181	△ 18.6
繰出金	236,000	1.1	237,000	1.1	△ 1,000	△ 0.4
教育費合計	20,563,427	100.0	21,727,175	100.0	△ 1,163,748	△ 5.4

(4) 児童生徒数

(単位／人，%)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較	伸び率
小学校	22,019	22,015	4	0.0
中学校	10,459	10,234	225	2.2
高等学校	896	888	8	0.9

※ 児童生徒数は、令和4年度は令和4年4月1日の見込み数値、令和3年度は令和3年5月1日の学校基本調査の数値

(5) 児童生徒1人当たりの教育費

(単位／円，%)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較	伸び率
小学校	351,114	423,066	△ 71,952	△ 17.0
中学校	134,521	159,237	△ 24,716	△ 15.5
高等学校	1,136,028	1,276,891	△ 140,863	△ 11.0

※ (2)教育費の目的別内訳の小，中，高等学校費それぞれを、(4)の児童生徒数で除した数値

(6) 児童生徒1人当たりの教育振興費

(単位／円，%)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較	伸び率
小学校	31,472	32,102	△ 630	△ 2.0
中学校	29,206	33,382	△ 4,176	△ 12.5
高等学校	87,820	81,556	6,264	7.7

※ (2)教育費の目的別内訳の小，中，高等学校それぞれの教育振興費を、(4)の児童生徒数で除した数値

令和4年度
柏市教育行政重点化方針

令和4年3月発行

編集・発行／柏市教育委員会
生涯学習部教育総務課
柏市大島田48番地1
04-7191-7389